

第 2 学年 外国語科単元計画

1 単元名 Lesson 6 My Dream (NEW CROWN 2 ENGLISH SERIES New Edition 三省堂)

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、登場人物が職業体験プログラムについて話している場面や職業体験プログラム終了後に行われた将来の夢についてのスピーチの原稿を通して、職業への関心を高めたり、自分の将来像や夢について考えたりすることができる。

文法事項としては不定詞の 3 用法 (名詞用法、副詞用法、形容詞用法) を扱っている。これらの言語材料を学ぶことでしたいことやその理由など、詳しい説明を加えることができるようになり、これまでよりも表現の幅が広がる。単元のゴール「ALTに行きたいと思ってもらえるような町紹介を書く」活動を通して、学習指導要領に示されている指導事項「書くこと一(ウ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」の力を付けることのできる単元である。

(2) 生徒観

①生徒の実態

本研究の対象クラスは三つのうちの中位層のクラスである。様々な活動に意欲的に取り組めるが、定期考査などの「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く」という正確さが求められる場面での達成率は低い。1 学期期末考査の「有名人を紹介しよう」という表現問題の正答率は 45.5%であった。一方、無解答率は 0%であり、書くことに対する意欲はうかがえる。誤答には、動詞の時制ミス、スペルミス、be 動詞と一般動詞の重複などが見られた。

2 年生の書く力の現状を、好きな月とその理由について書いたライティングワークシート(平成 29 年 6 月実施)から見ると、ほぼ全員がどの月が好きかという意見文は書こうとしていたものの、その理由については、ほとんどのものが読み手が納得できるような理由とはなっていない。また全体的に情報量が少なく、理由についての説明が不足していた。意見文とその理由をしっかりと書いてあり、まとまりがあると感じられる文章を書いている生徒は 52 名中 6 名であった。この結果から、2 年生の生徒の多くは「まとまりがある文章を書く力」に課題がある状態と言える。

②生徒の英語学習に対する意識

平成 29 年 6 月に実施した意識調査によると、「英語が好きか」という問いに「とても好き」「まあ好き」と肯定的に回答した生徒は全体の 80.7%、「それぞれの領域が好きか」という問いで「書くこと」に肯定的に回答した生徒は 67.3%であった。「それぞれの技能が身に付いているか」という問いには、「書く力がある」に肯定的に回答した生徒は 48%と最も少なかった。この調査から、「書くこと」は好きだと感じているものの「書く力」が付いていると感じている生徒は少ないことが分かる。また、「英語で書くときに困ること」に関する質問では、「単語や文法(表現)が分からない」、「まとまりのある文を書く方法が分からない」といったことに困っている生徒が多い。これらの要因として、「スペルや文法を覚えていない」、「伝えたい内容を英語でどう表現するか分からない」、「まとまりのある文章がどういうものか分からない」「まとまりのある文章を書く経験が少ない」といったことが考えられる。

(3) 指導観

最初に単元ゴールを生徒と確認し、単元終了時をイメージできるようにモデル作品を提示する。学習への見通しをもたせることで、生徒の意欲を高める一助としたい。語彙や文法の定着に課題があるため、まずは不定詞の用法をしっかりと定着させる。口頭練習で新出文法に十分に慣れさせてから友だちと話すことや、話した後で書くことに取り組みさせる。新出文法に慣れさせながら、単元ゴールの活動に活用できるような語句や表現もインプットしていく。また新出文法に慣れさせる活動を行った後には、その時間に学んだ文法事項を含んだ単元ゴールの活動につながるモデル文を提示し、それを参考に英作文させる。文法事項の定着を図りながら、単元ゴールの活動に近付いていくように指導を積み重ねる。

「書く力」が付いていると感じている生徒が少ないことの要因として考えられることのうち「伝えたい内容を英語でどう表現するか分からない」、「まとまりのある文章がどういうものか分からない」、「まとまりのある文章を書く経験が少ない」という課題を本単元の学習を通して解消していきたい。そのために次の三点に重点的に取り組む。(ア) J-E エクササイズを活用し、既習の言語知識を使って英語で表現できるという能力を育てる。(イ) 複数のモデル文を提示することにより、まとまりのある文章の形を示す。(ウ) 継続的に3～4文以上の文章を書かせる。

3 単元の目標

- (1) 不定詞や既習の表現を用いて、ALTに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書く。
- (2) 間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書く。
- (3) 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書いている。(w)	不定詞や既習の表現を用いて、ALTに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書くことができる。(w)	/	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。

5 指導と評価の計画 (全8時間)

時	学習内容	評 価 総括的評価、(形成的評価)					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	＊帯活動：トピックライティング ☆単元のゴールを知る。 ・ALTに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書く。 ○不定詞(名詞用法)を用いた文					エ 形 (「不定詞(名詞用法)」を用いて、尋ねたり答えたりしている。「不定詞(名詞用法)」を用いて、書いている。)	後日ペーパーテスト (活動の観察、ワークシート点検)

	<p>の構造を知り、口頭練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを使って、不定詞（名詞用法）のパターンプラクティスを行う。 不定詞（名詞用法）を用いた問答をし、相手の答えを英語で書く。 <p>○モデル文を参考にした英作文する。</p>				○		
2	<p>*帯活動：トピックライティング</p> <p>○前時の文法事項の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定詞（名詞用法）を用いた問答をする。 <p>○不定詞（副詞用法）を用いた文の構造を知り、口頭練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2種類のカードを使って、質問とその答えの組み合わせを考える。 「なぜ～するの」という質問に不定詞（副詞用法）を用いて、自分の行動に理由を付けて答える。 <p>○モデル文を参考にした英作文する。</p>				○	<p>エ 形</p> <p>（「不定詞（副詞用法）」を用いて、自分の行動に理由を付けて質問に答えている。）</p>	<p>後日ペーパーテスト （ワークシート点検）</p>
3	<p>*帯活動：J-E エクササイズ</p> <p>○前時の文法事項の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本文型ドリルを使って、不定詞（名詞用法・副詞用法）の音読、日⇄英の練習をする。 <p>○不定詞（形容詞用法）を用いた文の構造を知り、口頭練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定詞（形容詞用法）を用いて、場所当てクイズのヒントを書く。 				○	<p>エ 形</p> <p>（「不定詞の（形容詞用法）」を用いて、場所当てクイズのヒントを考えて書くことができる。）</p>	<p>後日ペーパーテスト （ワークシート点検）</p>
4	<p>*帯活動：J-E エクササイズ</p> <p>○前時の文法事項の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作ったクイズを出し合う。 <p>○モデル文を参考にした英作文する。</p> <p>○教科書本文（単元全体）の概要を理解する。</p>				○	<p>エ 形</p> <p>（「不定詞の（形容詞用法）」を含む場所に関するヒントを聞いて、どこについての説明かを考えることができる。）</p>	<p>後日ペーパーテスト （活動の観察）</p>

5	<p>*帯活動：J-E エクササイズ</p> <p>○前時の文法事項の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本文型ドリルを使って、不定詞（名詞用法・副詞用法・形容詞用法）の音読練習をする。 <p>○新出語句の意味を確認し、発音練習をする。</p> <p>○教科書本文（P70～73 パート1・2）の内容を理解する。</p> <p>○教科書本文の音読練習をする。</p>				<p>エ 形</p> <p>（不定詞を含む本文を読んで、健がなぜ高齢者福祉施設に職場体験に行ったのかを読み取ることができる。）</p> <p>○</p>	<p>後日ペーパーテスト</p> <p>（ワークシート点検）</p>
6	<p>*帯活動：J-E エクササイズ</p> <p>○新出語句の意味を確認し、発音練習をする。</p> <p>○教科書本文（P74、75 Read）の内容を理解する。</p> <p>○教科書本文の音読練習をする。</p>				<p>エ 形</p> <p>（不定詞を含むスピーチ原稿から、健の将来の夢とその理由を読み取り、要旨を捉えることができる。）</p> <p>○</p>	<p>後日ペーパーテスト</p> <p>（ワークシート点検）</p>
7	<p>*帯活動：J-E エクササイズ</p> <p>○プレ・ライティング活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル作品を見て、単元ゴールを再確認する。 ・提示されたマッピングと英文を見て、書き方を知る。 ・宿題で取り組んだマッピングやメモに付け足すことがないかを再考する。 <p>○町紹介ライティングを行う。</p>	○	○		<p>ア 間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書いている。</p> <p>イ A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書くことができる。</p>	<p>活動の観察</p> <p>作品チェック</p>
8	<p>*帯活動：J-E エクササイズ</p> <p>○町紹介ライティングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで読み合っ、お互いの良い点について日本語でコメントする。 ・読んだ町紹介の良い点を参考にして、書き直したり、書き足したりして原稿を仕上げる。 	○	○		<p>ア 間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書いている。</p> <p>イ A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書くことができる。</p>	<p>活動の観察</p> <p>作品チェック</p>
後日	<p>○町紹介ライティングを読み合ってから、投票する。</p> <p>○ペーパーテスト</p>				<p>エ</p> <p>不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>○</p>	<p>ペーパーテスト</p>

◆第1時 (1/8)

本時の目標	不定詞 (名詞用法) を用いて、冬休みに行きたいところやしたいことについて尋ねたり答えたりする。 不定詞 (名詞用法) を用いて、友だちの冬休みに行きたいところやしたいことについて書く。		
観点別評価規準	エ形 不定詞 (名詞用法) を用いて、尋ねたり答えたりしている。 エ形 不定詞 (名詞用法) を用いて、書いている。		
準備物	ワークシート、タイマー		
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
8	1 帯活動 (1) あいさつをする。 (2) トピックライティングを行う。 ・ライティングのモデルとして、教師のスマールトークを聞く。 ・アイデアを出すために、ペアで対話する。 ・自分が話したことを中心にトピックについて書く。	・教師が身近な話題 (トピック) を英語で話す。 ・話すことから書くことへつなげる。	
3	2 単元ゴールの確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書く。</div>	・町紹介のモデルを提示し、ゴールイメージをもたせる。	
5	3 新出文法事項「不定詞 (名詞用法)」の確認 ○不定詞 (名詞用法) を用いた文の構造を知り、口頭練習する。 T1 : What do you want to eat for dinner? T2 : I want to eat <i>yakiniku</i> . T1 : Oh, you want to eat <i>yakiniku</i> . Do you eat <i>yakiniku</i> at home? T2 : No. There is a good <i>yakiniku</i> restaurant in ○○○. When you want to eat <i>yakiniku</i> , please go there. T1 : I see. Thank you. (生徒に向けて) T1 : What does T2 want to eat for dinner? S1 : <i>Yakiniku</i> . T1 : That' s right. T2 wants to eat <i>yakiniku</i> . Repeat after me. T2 wants to eat <i>yakiniku</i> . Ss : T2 wants to eat <i>yakiniku</i> . T1 : S2, what do you want to eat for dinner?	・Oral Interactionで会話全体や不定詞の意味を推測させる。 ・生徒にも不定詞を用いて質問しながら、その答えでリピート練習させる。	
1	4 本時の目標の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">冬休みに行きたいところやしたいことについて、友だちと尋ねたり答えたりしよう。友だちから聞いた冬休みに行きたいところやしたいことについて書こう。</div>		
16	5 新出文法事項の練習 (1) 「want to」のパターンプラクティスをする。 ・リピート→個人→ペアの順で練習をする。 ・ワークシートの選択肢の中から、次の休みに自分が行きたいところやしたいことを選び、友だちと問答し合う。	・「want to」に続く動詞を入れ替え、自分のしたいことや町紹介に活用できる動詞をインプットする。	

	<p>(2) 不定詞 (名詞用法) を用いて、冬休みに行きたいところやしたいことについて、問答し合う。問答し終わったら、相手の答えを書く。</p> <p>例) A : Where do you want to go this winter? B : I want to go to Ehime. A : What do you want to do there? B : I want to skate.</p> <p>作文例 : Ken wants to go to Ehime this winter. He wants to skate.</p>	<ul style="list-style-type: none"> アイデアをもたせるためにまず生徒と教師でやりとりをする。 	エ 形 (活動の観察、ワークシート点検)
8	<p>6 モデル文を参考にした英作文</p> <p>○町紹介の英文を書くためのモデル文を参考に、不定詞 (名詞用法) を用いて、紹介したい町や場所のことを作文する。</p> <p>モデル文 (案) : Noichi Zoo is in Konan city. Do you know Hashibirokou? It's a rare bird, so only seven zoos in Japan have Hashibirokou. If you want to see Hashibirokou, please visit this zoo! You can also see many cute animals.</p>	<ul style="list-style-type: none"> モデル文のマッピングを提示し、アイデアの出し方も示す。 アイデアが思い浮かばない生徒には、例としていくつかの場所を提示し、自分の知っている場所について書くように促す。 	
4	<p>7 振り返り</p> <p>(1) 振り返りシートへの記入をする。 (2) 宿題や次時の予定を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町紹介のアイデアを考えてくることも宿題として伝える。 	

◆第2時 (2 / 8)

本時の目標	「不定詞 (副詞用法)」を用いて、自分の行動に理由を付けて質問に答える。		
観点別評価規準	エ 形 「不定詞 (副詞用法)」を用いて、自分の行動に理由を付けて質問に答えている。		
準備物	ワークシート、タイマー		
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
7	<p>1 帯活動</p> <p>(1) あいさつをする。 (2) トピックライティングを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時とは違うペアで行う。 アイデアを出すために、ペアで対話する。 自分が話したことを中心にトピックについて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 話すことから書くことへつなげる。 	
3	<p>2 前時の文法事項の復習</p> <p>○不定詞 (名詞用法) を用いて、したいことについて問答し合う。</p> <p>例) A : What do you want to do during the summer vacation? B : I want to see fireworks.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2分間でできるだけたくさんの人に尋ねさせる。 	

5	<p>3 新出文法事項「不定詞（副詞用法）」の確認 ○不定詞（副詞用法）を用いた文の構造を知り、口頭練習する。 例) T : Do you often go to the library? S1: Yes, I do. T : Why do you go to the library? S1: I read books. T : Oh, I see. You go to the library to read books. Please repeat. S1 goes to the library to read books. Ss: S1 goes to the library to read books. T : S2, do you go to the library to read books? S2: No, I don' t. T : Then, why do you go to the library? S2: I study there. T : I see. You go to the library to study. Please repeat. S2 goes to the library to study. ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Oral Interaction • 不定詞（副詞用法）を使いながら口頭で導入する。教師とのやりとりで不定詞の意味を推測させる。 • 質問しながら、不定詞を用いて生徒の答えを繰り返し、リピート練習させる。 	
1	<p>4 本時の目標の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分の行動に理由を付けて、質問に答えよう。</p> </div>		
18	<p>5 新出文法事項の練習 (1) 理由を表す「to+動詞の原形」のパターンプラクティスをする。 ・リピート→個人→ペアの順で練習をする。 ・グループでカードA、カードBの組み合わせを考える。 例) カードA（なぜ）： Why do you go to the library? カードB（理由）： To read books. (2) 「なぜ～するの」という質問に対して不定詞（副詞用法）を用いて、自分の行動に理由を付けて答える。 例) Why do you go to the library? I go to the library to ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 動詞を入れ替え、理由の付け足しや町紹介に活用できる動詞をインプットする。 • 3人1組のグループそれぞれに12枚のカード（A：6枚、B：6枚）を渡す。 	<p>エ形 (ワークシート点検)</p>
7	<p>6 モデル文を参考にした英作文 ○町紹介のモデル文を参考に、不定詞（副詞用法）を用いて、紹介したい町や場所のことについて作文する。 モデル文 : Aki city is famous for <i>shirasu</i>. They are baby fish. I like <i>shirasu</i>, so I sometimes go to <i>Aki Shirasu Shokudo</i> to eat <i>shirasu-don</i>. It is very delicious. Have you ever eaten <i>shirasu</i>?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • モデル文のマッピングを提示し、アイデアの出し方も示す。 • アイデアが思い浮かばない生徒には、例としていくつかの場所を提示し、自分の知っている場所について書いてみるように促す。 	
4	<p>7 振り返り (1) 振り返りシートへの記入をする。 (2) 宿題や次時の予定を確認する。</p>		

◆第3時（3／8）

本時の目標	不定詞の（形容詞用法）を用いて、場所当てクイズのヒントを考えて書く。
観点別評価規準	エ形 不定詞の（形容詞用法）を用いて、場所当てクイズのヒントを考えて書くことができる。
準備物	ワークシート（J-E エクササイズ・クイズ）
学習の展開	

時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
20	<p>1 帯活動</p> <p>(1) あいさつをする。</p> <p>(2) J-E エクササイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師とやりとりしながら、日本語を英文に変えてみる。 <p>例) 私は音楽が好きだ。 彼女は長い髪をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> そのまま英語にできない表現があっても辞書を使わずに対処する。 <p>例) 私は宿題に追われている。 私は音痴だ。 今日はテストだった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次時以降、帯活動として取り組めるように、本時のみ20分の活動とする。 ここでのやりとりは日本語で行う。 英語で表現しやすい日本語に変換することに全体で慣れさせた後、ペアやグループで考えさせる。 	
3	<p>2 前時の文法事項の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本句型ドリルを使って、ペアで不定詞(名詞用法・副詞用法)の復習をする。 ・音読、英文→日本語、日本語→英文 		
5	<p>3 新出文法事項「不定詞(形容詞用法)」の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師とやりとりする。 <p>例) T: I have some questions for you today. Are you ready? Ss: Yes! T: OK, No.1. You have it in your house. It's a room to cook. What is it? S1: Kitchen! T: That's right! Let's try No.2. We have many of them in our city. It is the place to buy many things for 24 hours. What is it? S2: Convenience store! T: Yes. Good job! A kitchen is a room to cook. A convenience store is the place to buy many things for 24 hours. Then, a library is a place to ... S3: Read books. T: OK. Repeat after me. A library is the place to read books. Ss: A library is the place to read books.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Oral Interaction ・不定詞(副詞用法)を使いながら口頭で導入する。教師とのやりとりで不定詞の意味を推測させる。 ・不定詞を用いたクイズのヒントをもとにして、不定詞を用いてどんな場所か説明する部分を考えさせる。またリピート練習も行う。 	
1	<p>4 本時の目標の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>場所当てクイズのヒントを考えて書こう。</p> </div>		
12	<p>5 新出文法事項「不定詞(形容詞用法)」の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不定詞の(形容詞用法)を用いて、場所当てクイズを作る。ある場所について、そこがどんな場所なのかをヒントにする。 ・グループで、ヒントを考える。 <p>例) We have some of them in Aki city. They are the place to take the train. What are they?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つ以上の場所についてヒントを書き、できたグループからヒントの音読練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人1組にする。 ・クイズの答えとなる場所が思い付かないグループには、場所を書いたくじを引かせて、その場所についてヒントを考えさせる。 	<p>エ形 (ワークシート点検)</p>
4	<p>6 振り返り</p> <p>(1) 振り返りシートへの記入をする。</p> <p>(2) 宿題や次時の予定を確認する。</p>		

◆第4時（4／8）

本時の目標	不定詞の（形容詞用法）を含む場所に関するヒントを聞いて、どこについての説明かを考える。		
観点別評価規準	エ形 不定詞の（形容詞用法）を含む場所に関するヒントを聞いて、どこについての説明かを考えることができる		
準備物	ワークシート（J-E エクササイズ・クイズ）、ピクチャーカード、CD デッキ		
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
10	1 帯活動 （1）あいさつをする。 （2）J-E エクササイズを行う。 例）私はカナヅチだ。 あいつはガリ勉だ。 ・個人で考えてから、ペアでアイデアを共有する。	・ここでのやりとりは日本語で行う。	
1	2 本時の目標の確認	場所に関するヒントを聞いて、どこについての説明かを考えよう。	
10	3 前時の文法事項「不定詞（形容詞用法）」の復習 ○前時に作ったクイズを出し合う。 例）We have some of them in Aki city. They are the places to take trains. What are they?	・各グループのクイズをもち寄り、6人1組でクイズを出し合う。	エ形 （活動の観察）
6	4 モデル文を参考にした英作文 ○町紹介のモデル文を参考に、不定詞（形容詞用法）を用いて、紹介したい町や場所について作文する。 モデル文：I' ll tell you about my city, Muroto. Muroto city has many places to visit. One of them is Muroto Dolphins Center. If you visit there, you can see and touch cute dolphins. You can also swim with dolphins.	・モデル文のマッピングを提示し、アイデアの出し方も示す。 ・アイデアが思い浮かばない生徒には、例としていくつかの場所を提示し、自分の知っている場所について書くように促す。	
13	5 教科書本文（単元全体）の概要の理解 （1）Lesson 6 の表紙絵を見て、質問に答える。 ① What are the people doing? ② What kind of work can you see in the picture? Is there a teacher? ③ Do you have any dreams? ④ What kind of work are you interested in? ... （2）ピクチャーカードを見ながら、教師とのやりとりで内容を推測する。	・Oral interaction 表紙絵に関する質問から、生徒自身のことへと結び付ける。	
5	6 振り返り （1）振り返りシートへの記入をする。 （2）宿題や次時の予定を確認する。		

◆第5時（5／8）

本時の目標	不定詞を含む本文を読んで、健がなぜ高齢者福祉施設に職場体験に行ったのかを読み取る。
観点別評価規準	エ形 不定詞を含む本文を読んで、健がなぜ高齢者福祉施設に職場体験に行ったのかを読み取ることができる。

準備物		ワークシート、ピクチャーカード、フラッシュカード、CD デッキ、タイマー	
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
8	1 帯活動 (1) あいさつをする。 (2) J-E エクササイズを行う。 例) 私は猫舌だ。 将来、アメリカに留学したい。 ・個人で考えてから、ペアでアイデアを共有する。	・ここでのやりとりは日本語で行う。	
4	2 前時までの文法事項の復習 ○基本文型ドリルを使って、ペアで不定詞(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)の復習をする。 ・音読、英文→日本文、日本文→英文		
1	3 本時の目標の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">健がなぜ高齢者福祉施設に職場体験に行ったのかを読み取ろう。</div>		
27	4 教科書本文(Lesson6 パート1・2)の内容理解 (1) 新出語句の意味を確認し、発音を練習する。 (2) 教科書本文の内容を理解する。 ・本文をセリフごとやまとまりごとに切り分けたものを並べ替え、本文の内容を予測する。 ・答え合わせを兼ねて、CDで本文全体を聞く。 ・ピクチャーカードを見ながら、教師とやりとりする。 ・ワークシートに沿って本文の内容を読み取る。 (3) 本文の音読練習をする。	・個人で考えた後、ペアで確認する。 ・Oral interaction 登場人物や場面の確認程度に留める。	エ形 (ワークシート点検)
5	5 振り返り (1) 振り返りシートへの記入をする。 (2) 宿題や次時の予定を確認する。		

◆第6時(6/8)

本時の目標		不定詞を含むスピーチ原稿から、健の将来の夢とその理由を読み取り、要旨を捉える。	
観点別評価規準		エ形 不定詞を含むスピーチ原稿から、健の将来の夢とその理由を読み取り、要旨を捉えることができる。	
準備物		ワークシート、ピクチャーカード、フラッシュカード、CD デッキ、タイマー	
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
8	1 帯活動 (1) あいさつをする。 (2) J-E エクササイズを行う。 例) 昨日は引きこもっていた。 彼女に憧れている。 ・個人で考えてから、ペアでアイデアを共有する。	・ここでのやりとりは日本語で行う。	
1	2 本時の目標の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">健のスピーチ原稿から将来の夢とその理由を読み取り、要旨を捉えよう。</div>		

31	<p>3 教科書本文 (Lesson6 READ) の内容理解</p> <p>(1) 新出語句の意味を確認し、発音を練習する。</p> <p>(2) 教科書本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師とやりとりしながら、前時に学習した教科書本文 (Lesson6 パート1・2) の内容を振り返る。 ・本文をパラグラフごとに切り分けたものを並べ替え、本文の内容を予測する。 ・答え合わせを兼ねて、CDで本文全体を聞く。 ・ピクチャーカードを見ながら、教師とやりとりする。 ・それぞれの段落で何を伝えようとしているのか、またどのような順番で書かれているのか、本文の構成について考える。 ・ワークシートに沿って本文の内容を読み取り、スピーチの要旨を捉える。 <p>(3) 本文の音読練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Oral interaction 振り返ることで、本時の内容を掴みやすくする。 ・個人で考えた後、ペアで確認する。 ・Oral interaction ・まとまりのある文の構成の仕方を知り、町紹介に活用させる。 	エ形 (ワークシート点検)
5	<p>4 振り返り</p> <p>(1) 振り返りシートへの記入をする。</p> <p>(2) 宿題や次時の予定を確認する。</p>		

◆第7時 (7/8)

本時の目標	間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書く。 A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書く。		
観点別評価規準	ア 間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書いている。 イ A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書くことができる。		
準備物	ワークシート		
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
8	<p>1 帯活動</p> <p>(1) あいさつをする。</p> <p>(2) J-Eエクササイズを行う。</p> <p>例) 携帯が圏外だ。 ヤ・シィパークは人気のある遊び場だ。</p> <p>・個人で考えてから、ペアでアイデアを共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでのやりとりは日本語で行う。 	
4	<p>2 前時の復習</p> <p>(1) 教科書本文 (Lesson6 READ) の構成を振り返る。</p> <p>○教師とやりとりしながら振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Oral interaction まとまりのある文の構成を本文で振り返り、町紹介に活用させる。 	
1	<p>3 本時の目標の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書こう。</div>		
12	<p>4 プレ・ライティング活動</p> <p>(1) 町紹介のモデルを見て、単元ゴールを再確認する。</p> <p>(2) 提示されたマッピングと英文を見て、紹介文の書き方を知る。</p> <p>(3) 宿題で取り組んだ町紹介のマッピングやメモに付け足すことがないかを再考する。</p>		

15	5 町紹介ライティング ○マッピングやメモをもとに町紹介を書く。	・辞書の活用を促す。	ア 活動の 観察、 イ 作品 チェック
5	6 振り返り (1) 振り返りシートへの記入をする。 (2) 宿題や次時の予定を確認する。		

◆第8時（8／8）

本時の目標	間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書く。 A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書く。		
観点別評価規準	ア 間違いを恐れず、積極的に町紹介の英文を書いている。 イ A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書くことができる。		
準備物	ワークシート、画用紙、色ペン		
学習の展開			
時間	生徒の学習活動	指導上の留意事項	評価規準 評価方法
6	1 帯活動 (1) あいさつをする。 (2) J-E エクササイズを行う。 例) 安芸はナスで知られている。 高知には自然がたくさんある。 ・個人で考えてから、ペアでアイデアを共有する。	・ここでのやりとりは日本語で行う。	
1	2 本時の目標の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">A L Tに行きたいと思ってもらえるような町紹介をまとまりのある英文で書こう。</div>		
32	3 町紹介ライティング ○前時までのマッピングやメモをもとに町紹介を書く。 ・グループで読み合って、お互いの良い点について日本語でコメントする。 ・読んだ町紹介の良い点を参考にして、書き直したり、書き足したりして原稿を仕上げる。	・辞書の活用を促す。 ・相手が発信したいことが伝わる十分な分量があるか、自分の気持ちなどが含まれているか、情報を伝える順番が工夫されているか、という視点で読ませる。	ア 活動の 観察、 イ 作品 チェック
6	4 振り返り (1) 振り返りシートへの記入をする。 (2) 宿題や次時の予定を確認する。	・行ってみたいと思う町紹介は後日A L Tに選んでもらうことを伝える。	